



新経営の

知る人ぞ知る京都

Vol. 17

しま  
終い弘法

しま  
終い天神

東寺では毎月21日を「弘法さん」、北野天満宮では25日を「天神さん」と呼んで、古くから縁日が開かれています。中でも、年末の「終い弘法」「終い天神」は、今年一年の無事に感謝を込めてお参りするとともに、これから迎える新年の招福息災を願う、大切な縁日なのです。



弘法大師

唐で密教を学んで帰国した弘法大師(空海)が嵯峨天皇より東寺を賜り、真言密教の根本道場としました。弘法大師が亡くなった3月21日にちなんで、毎月21日に法要が行われ、東寺ではこの日が、仏がこの世と”縁”を持つ日、”縁日”となります。

### 菅原道真公

北野天満宮のご祭神である菅原道真公は、さまざまな伝説を生み、やがては天神さまと崇められました。縁日は菅原道真公の誕生日6月25日と命日2月25日に由来しています。



江戸時代ごろから参拝者のために境内で茶屋、植木屋、薬屋などが出てきたことが「弘法さん」の起源とされます。今では骨董品や古着を売る店など、1000軒以上の露店が並びます。

終い天神では、正月用品を商う店にぎわう中、招福息災の大福梅、祝箸、お屠蘇の授与もあります。「天神さん」に合格祈願という参拝者も多くあり夜にはライトアップも。



### 笹屋伊織「どら焼」

江戸時代末期、東寺から菓子の依頼を受け、お寺の銅鑪(どら)の上で焼いたことから「どら焼」と名付けられました。「弘法さん」に合わせて毎月20～22日の3日間のみの販売。



### 長五郎餅本舗「長五郎餅」

太閤秀吉が開いた北野大茶会に用いられ、400年以上の歴史があります。薄い餅皮に餡を包んだ上品な餅菓子で境内の茶店でいただけます。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、各縁日は中止となる場合があります。開催についてはホームページなどをご確認ください。



来年もよろしくお祈りします！



■出版社:第一法規  
■定 価:3,000円+税



著者 弊社人事戦略研究所  
森 中 謙 介

## 人手不足を円満解決 現状分析 から始める シニア再雇用・定年延長

2時間でわかる、シニア活用・シニア人事制度改革の入門書

多くの企業で、同一労働であっても賃金が下がることによる「シニアのモチベーション低下」、慢性的な人手不足、シニア雇用を推進する法改正といった社会情勢などが、経営に大きな影響を与え、シニア雇用の在り方を見直さなければならない状況を迎えています。

企業の人事課題に沿ったコンサルティングを得意とし、実績を上げている著者が、単にシニア活用のバリエーションを紹介するのではなく、必要かつ実現可能な範囲で、自社の状況に合ったシニア活用を行う方法について、具体的な成功事例を用いながら解説します。

### ■本書の構成

- 第1章 人手不足対策としてのシニア活用
- 第2章 自社の「現状分析」をしてみよう
- 第3章 シニア社員の活躍を引き出す人事制度の設計方法
- 第4章 60歳定年—継続雇用制度の改革事例
- 第5章 60歳以上への定年延長制度の改革事例



いつもNEWSNEWSNEWSをお読みいただきありがとうございます。  
来年からバイマンスリーワーズのメールでの送信が始まりますが、それに伴いNEWSNEWSNEWSについても少しリニューアルすることになりました。今まで通り、京都近郊にまつわるちょっとしたお話や、弊社の新しい情報などをお届けできればと思います。もちろんメールでも紙面でも同じ内容となります。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

### <あとがき>

新年を迎えると、もちろん「初弘法」「初天神」があります。落語にもあるようにこちらの方が有名かもしれませんね。いつの世も少しでも神様や仏様に頼りたいものです。どうぞ来年は良い年になりますように、弘法さん、天神さんよろしく願います！（木下）

